

急増するインバウンドの「多言語対応」をNICTの音声翻訳技術がアシストします。



様々なシーンでの活用例

お店の接客で

NICTの音声翻訳技術は、旅行会話を得意としています。買物や料理の注文、ホテルのフロント業務や、近隣のご案内などインバウンドにおける多言語対応を強力にサポートします！

観光客の案内で

全国の駅名や主要観光名所は登録済みなので、お客様へのご案内もスムーズに行えます。

緊急や病気の時も

病院や消防との実証実験を行っており、病気や災害などの緊急時にも、迅速かつ円滑にコミュニケーションが図れます。

民間サービスのご紹介

国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) の音声翻訳技術は、様々な民間サービスに活用されています。御社に合ったサービスやアプリを、ぜひご検討ください。

●「VoiceBiz」

多言語音声翻訳サービス
提供元：凸版印刷(株)



●「NEC多言語音声翻訳サービス」

提供元：日本電気(株)



●「対面ホンヤク」

多言語音声翻訳サービス
提供元：パナソニック(株)



●「どこでも翻訳」 日英・日中・日韓

スマートフォンアプリ
提供元：(株)フィート



●「Fairy I/O TumblerT-01」

多言語音声翻訳サービス
向け機器
提供元：Fairy Devices(株)



●「ili」

オフライン音声翻訳機
提供元：(株)ログバー



- ・民間サービスに関する記載は2018年6月現在のものです。最新情報および各民間サービスの詳細は、提供元の各社にお問い合わせください。
- ・このパンフレットに記載する会社名、商品名、ブランド名、ロゴマークなどは、各社の商号、登録商標または商標です。

音声翻訳アプリ・機器の導入で期待できる効果

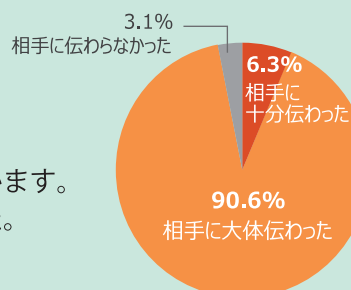
【音声翻訳アプリ利用時の様子】

96.9% の利用者が「相手に伝えたいことを伝えられた」と回答！

【ご利用者の声】

- ・翻訳アプリによって今までより外国人のお客様に対応しやすくなり、助かっています。
- ・アプリのおかげで、中国語を話されるお客様とも会話ができるようになりました。
- ・外国人のお客様の希望される商品を間違いなく販売できるようになりました。

※それぞれ独立したアンケートの結果です。



2020年、言葉の壁を越えた 『おもてなし』の実現へ

NICTの音声翻訳技術の特徴

日本語が 高精度

日本国内で研究開発を行っており、日本語の音声認識や、日本語からあるいは日本語への翻訳は、非常に高精度です。また、全国の駅名などの固有名詞や日本の観光・文化固有の表現が充実しているため、円滑な認識・翻訳ができます。

確かな研究 開発実績

30年以上の研究開発実績に裏打ちされており、さらに最新の研究成果の導入により、日々進化し続けています。NICTの研究成果は本分野の主要国際会議で高い評価を得ており、特許も多数取得しています。

活用シーン 拡大中

総務省の「グローバルコミュニケーション計画」のもと、得意とする旅行会話のみならず、商業施設・病院・警察・消防等での会話の性能向上をオールジャパン体制で進めています。

音声翻訳は、通訳の方に頼るほどではない状況で手軽に使える上に、多言語に対応できます。さらに使い方のコツを覚えれば、その性能を最大限に引き出してご利用いただけます。

<使い方のコツ・動画公開中> [VoiceTraサポートページ](http://voicetra.nict.go.jp/) <http://voicetra.nict.go.jp/>

NICTの音声翻訳技術の性能は、研究用アプリ 「VoiceTra」でお試しいただけます。

シリーズ累計
300万以上
のダウンロード実績!

31言語間の翻訳が可能!

多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」

VoiceTra®



VoiceTraは無料でダウンロード・ご利用いただけますが、個人の旅行者の試用を想定して作られた研究用アプリであり、研究目的のサーバを使用しています。NICTの技術を活用した、業務用に最適な民間の製品・サービスのご利用もご検討ください。

<民間の製品・サービス事例のご紹介> [グローバルコミュニケーション開発推進協議会サイト](http://gcp.nict.go.jp/) <http://gcp.nict.go.jp/>

お問い合わせ先: ict@khn.nict.go.jp

(NICTの音声翻訳技術を用いたアプリ・システムの開発にご興味のある方もこちらまで連絡ください)

〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台 3-5 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 先進的音声翻訳研究開発推進センター (ASTREC)



国立研究開発法人
情報通信研究機構

